

藍のふるさと阿波 古文書巡回展示 古文書から読み解く! 阿波藍を生業とした先人の歴史

11月20日~21日、文化研修センターにおいて、日本遺産に認定された阿波藍の情報発信や調査研究を行う「藍のふるさと阿波魅力発信協議会」と吉野川市の主催で、古文書や吉野川市の構成文化財の資料の展示、吉野川市の旧町村発行歴史書の藍に関する記述の展示、藍染め教室作品展、藍染め体験を実施しました。来場者の中には、藍で繁栄した歴史やかつて藍師や藍商であった先祖の名前を見つけた方もおり、感慨深い様子でした。



△大勢の来場者がありました



第68回お餅で窒息死?
お正月にお餅を食べる時、誤って喉に詰まらせてしまったり、窒息により死亡する事故が、お年寄りにも多いと聞きましたが、本当でしょうか?

質問 お正月にお餅を食べる時、誤って喉に詰まらせてしまったり、窒息により死亡する事故が、お年寄りにも多いと聞きましたが、本当でしょうか?

回答 昨年、筑波大学の研究グループが発表した過去10年間の死亡原因の解析報告によると、食物の誤嚥による窒息事故が1月に多く発生し、特に正月の3日間に多く発生していることが示されています。

食物の誤嚥による窒息が原因で4000人以上の方が亡くなっていることが知られており、これら誤嚥による窒息死亡事故の半数近い18000件以上が元旦からのわずか3日間に集中して発生していることがわかりました。ほとんどが自宅などで発生しており、年齢的には75歳以上の後期高齢者に多いことが示されています。

この報告では、原因となった食物の断定はできないが、消費量の相関や食習慣などから、おそらく餅が原因であろうと考察されています。

新年を迎え、元旦の朝ご飯は、お餅の入ったお雑煮を食べる方が多いのではないのでしょうか。

おしえて!! 歯医者さん

が多いのではないのでしょうか。また、1月は、お雑煮だけでなく、「久しぶりに」お餅を食べる機会が増える方が多い事と思えます。

奥歯が少なくなると、噛む力が徐々に弱まり、飲み込む力も弱くなります。また、年齢とともに、唾液の量が少なくなり、咳で異物を押し出す力も弱くなるなど、誤嚥を起こしやすくなります。窒息事故の対処法として、腹部突き上げ法や背部叩打法などがありますが、予防が一番です。粘着性が高いお餅も、小さく切って、お茶や汁液で喉を潤してから、しっかりと噛んで、唾液が充分に混ざるように食べることが、誤嚥により喉に詰まる危険性をかなり減らすことができます。

自分の歯や歯ぐき、入れ歯などを、健康で快適な状態に維持していくことは、事故防止にもとても大切です。

吉野川市歯科医師会
お口の質問を募集しています。下記までメールまたはFAXでお寄せください。

お口の質問について(窓口)

市長公室 FAX 22-2244 メールアドレス m-koushitsu@yoshinogawa.i-tokushima.jp



できごと

yoshinogawacity



ソフトボールの西日本大会で優勝

吉野川市体育協会に所属しているソフトボールチーム「吉野川市 MARC」が、11月13日から高知県で2日間行われた「第11回西日本一般男子ソフトボール大会」に徳島県代表として出場し、見事優勝を果たしました。

監督の山下さんは「チーム結成から6年間、頑張ってきた成果がでて嬉しい。それに加えてチームのマナーの良さを大会本部から褒めていただいたことが何より嬉しかった。来年は全国大会優勝を目指して頑張っていきたい」と、喜びを語りました。



△結成6年目で快挙を成し遂げた吉野川市 MARC

高越タグラグビーチーム「ファイヤートルネード」が第3位入賞

11月21日、奈良県橿原市で開催された関西小学生スポーツ交流大会・タグラグビー大会に、徳島県代表として高越タグラグビーチームが出場し、第3位に入賞しました。選手はコロナ禍のなか、時間や参加人数の制限を受けながらも、大会出場を夢見て、練習に励んできました。キャプテンの熊代新さんは、「みんなで大きな大会に参加できて良かった。監督や保護者に感謝しています」と、喜びを語りました。



△徳島県代表として輝かしい成績を残した高越タグラグビーチーム「ファイヤートルネード」

令和3年度吉野川地域就職マッチングフェア&ふれあい就職面接会

10月27日、吉野川市民プラザにて、本市とハローワーク吉野川の共催事業として、令和3年度吉野川地域就職マッチングフェア&ふれあい就職面接会(障がい者面接会)を開催しました。

当日は、医療・建設・農業など吉野川地域に事業所を置く31業者、求職者は約100人が参加しました。

午前と午後、それぞれの企業のブースに分かれて面接が行われ、新型コロナウイルスの影響で中止になる面接会も多い中、地元企業と求職者を繋ぐ良い機会となりました。



△開会式の様子

防火パレード

119番の日である11月9日から1週間、「秋季全国火災予防運動」が実施されました。本市では11月12日に、市消防団・徳島中央広域連合消防本部・阿波吉野川警察署合同による防火パレードを、市内全域で実施しました。

2021年度全国統一防火標語は、「おうち時間 家族で点検 火の始末」です。空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節になっています。一人一人が火災予防に対する意識を持ち、火災による悲惨な事故や貴重な財産の損失を防ぎ、「火災に強いまちづくり」を目指しましょう。



△防火パレードに出動する消防車

吉野川市戦没者追悼式で平和を誓う

11月20日、吉野川市アメリティセンターにて令和3年度吉野川市戦没者追悼式が行われました。追悼式には遺族、来賓150人が参列し、御霊に献花を行い、戦没者に哀悼の意を表すとともに、恒久平和を誓い合いました。

追悼の言葉では多くの来賓の力に続き、中学生を代表して県立川島中学校3年生の早雲真真さんから、「平和のバトンを受け継ぎ、後世に伝えていくことが使命」と力強い言葉がありました。



△誓いの言葉を述べる早雲真真さん

【電力消費機器】 便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉める。

【電力消費機器】 テレビを省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、不要な時は消す。

